

■はじめに

まちににぎわいを取り戻すためのキーワードの一つに「交流人口の拡大」があります。中でも「観光交流」の推進は、来訪者に楽しみや教養をもたらす事が出来ることはもとより、受入側の地域にも、誇れる資源で人の心を豊かにし経済的にもメリットがあるといった、とても前向きでプラス効果の高い取組みだといえます。

そこで多くの地域で観光交流の推進に取り組んでいるところですが、近年、古くからの観光地だけでなく、これまで観光対象とされていなかった地域資源に違った角度から光をあてて、“ここにしかない”新たな魅力を見出して、多くの人に支持される観光地に育て上げる例も生まれています。また、新しいツーリズムの躍進、企業や若い世代の観光まちづくりへの貢献など、次々と地域の追い風となる取組みも増えています。

今回の特集では、新たな視点を持ち、地域にある資源や人材、アイデアを活かして“ここにしかない観光交流”で成果を上げている、県内外の先進的な取組みをご紹介します。

(研究部長 白鳥 和樹)

■表紙のこぼ

旅先の宿にて湯に浸かり、旅行客との湯談話が始まる。「どこからですか。」との問いに「道後温泉の松山からですよ。」と答えると、「あんな良い温泉があるのにこんな所まで…」と言われる。

確かに、温泉は日本最古でどこにも負けないし、温泉街も老若男女を幅広く迎え入れ、女子一人旅も楽しめる優しさが、「ここにしかない」良さに気付く。

今年はず規、漱石生誕150年を迎え、9月には新湯「飛鳥乃温泉」も誕生し、更に磨かれる道後には歴史、文化の話題も尽きない事でしょう。

柳原あや子



●アングル

Local でいこう!

米田 誠司/愛媛大学法文学部 准教授

1

●特集/ここにしかない観光交流で未来を拓く!

①「豊後高田・昭和の町」づくり

～過去・現在・未来～

水田 健二/豊後高田市観光まちづくり株式会社 観光振興推進室長

6

②現代アート・建築をきっかけに、瀬戸内の島々を  
本当の幸せ・豊かさを感じられる島に

宇野 恵信/ベネッセアートサイト直島 経営企画部長・公益財団法人 福武財団 広報部長

8

③高校生と地域が誇れる近代化産業遺産を磨き上げる

～シビックプライドを胸に学びの絆を未来へつなぐ～

河野 義知/愛媛県立新居浜南高等学校 コネスコ部 顧問

10

④ここだけの風景と、とっておき体験を国内外へ発信

～広域・官民連携で観光交流事業を推進～

大和 勉/三好市観光課 主任主査

12

⑤伝統は革新の積み重ね

～道後温泉の「最古にして最先端」の取組み～

宮崎 光彦/道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 会長

14

⑥観光まちづくりのスヌメ

愛媛県 経済労働部 観光物産課

16

●地域おこし協力隊 リレーレポート

地域を形成するのは人。

そこに住まう人の元気が地域のこれからを創る

大西 千晶/八幡浜市日土東地区 地域おこし協力隊

18

●移住コンシェルジュ通信

アートでの地域活性化プロジェクト

「アーティスト・イン・レジデンス」による移住交流

板垣 義男/えひめ移住コンシェルジュ

20

●特選ブログ/shin 1さんの日記

ここにしかない観光交流で未来を拓く

若松 進一/人間牧場主・年輪塾々長

22

●“MY TOWN” うおつちんぐ

貴重な産業遺産・石炭窯…西予市明浜町高山

岡崎 直司/タウンツーリズム講座主宰・近代化遺産活用アドバイザー

24

●まちづくり活動アシスト事業(報告)

①私たちの大好きな街を盛り上げる

～昔の写真で、過去と今、人と人をつなぐ～

山岡 将人/今治今昔写真会 会長

26

②日本初の農家の農家による農家のための営農気象情報配信事業

清水 和繁/特定非営利活動法人 坂の上のクラウド利用研究会 理事&気象予報士

27

③地域住民と専門家(大学)の協働による滞在型観光の基礎整備

～狩江住民が大学生と一緒に地域の交流拡大について考えました～

毛利 精市/かりとりもさくの会 大学交流委員会 委員長

28

●Information センターからのお知らせ

センタースタッフご紹介

29